

JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法

この規格は、特にかび抵抗性を必要とする工業製品又は工業材料のかびに対する抵抗性の試験方法について規定したものです。

試験概要

かびの混合孢子懸濁液を試料又は試験片に接種し、一定期間培養後、試料又は試験片の表面に生じた菌糸の発育状態を肉眼や顕微鏡で調べる方法です。

試験の種類

試験① 一般工業製品の試験

◆試験に用いるかび

Aspergillus niger

Penicillium citrinum

Rhizopus oryzae

Cladosporium sphaerospermum

Chaetomium globosum

Aspergillus tonophilus (ガラス製品の場合のみ)

◆試料：計測機器、木竹製品、ガラス製品等

30 mm×30 mm～50 mm×50 mm 程度の大きさを6個以上

試験② 繊維製品の試験(乾式法又は湿式法)

◆試験に用いるかび

Aspergillus niger

Penicillium citrinum

Chaetomium globosum

Myrothecium verrucaria

◆試験片：織物、メリヤス、網、糸、ひも、索、綱等

50 mm×50 mm 程度の大きさを6個以上

乾式法：ふつうの衣料用、屋内用、衣装用の繊維製品などに適用

湿式法：屋外、水中などで使用するために、特にかび抵抗性を必要とする繊維製品に適用

ご依頼の際は、どちらの方法(乾式法、湿式法)を行うか、ご指定下さい。

試験③ 塗料の試験

◆試験に用いるかび

Aspergillus niger

Talaromyces pinophilus

Cladosporium sphaerospermum

Aureobasidium pullulans

Trichoderma virens

◆試験片

塗料として 200 mL 程度、試験片として直径 30 mm の円形で 6 個以上

なお、塗料そのもの場合は規格に従った前処理を実施するため、納期が変動します。

試験④ 皮革及び皮革製品の試験

◆試験に用いるかび

Aspergillus niger

Penicillium citrinum

Cladosporium sphaerospermum

◆試験片

直径 30 mm の円形に切り取ったもの、6 個以上

試験⑤ プラスチック製品の試験(附属書 A)

試験区分は I (接種区分)[かびを接種し、培養する]のみとなります。

質量又は他の物性変化は実施いたしません。

◆試験に用いるかび

Aspergillus niger

Talaromyces pinophilus

Paecilomyces variotii

Trichoderma virens

Chaetomium globosum

◆試験片

50 mm (±1 mm)×50 mm (±1 mm)のものが 10 個以上

【プラスチック製品の方法 A 及び方法 B について】

方法Aでは栄養成分を含まない状態で試料を保存します。このため、試料そのものが本来持っているカビ抵抗性の評価に適しています。

方法Bでは栄養成分を含ませた状態で試料を保存します。カビの生育が良くなりますので、試験条件としては厳しいものになりますが、防カビ剤等を含む試料と含まない試料を比較した場合、防カビ剤の効果があれば差がはっきりと出ます。

ご依頼の際は、どちらの方法(方法 A, 方法 B)を行うか、ご指定下さい。

その他、電気製品・電子製品の試験(附属書 B)や光学部品・光学機器の試験(附属書 C)もごさいます。詳細についてはお問い合わせ下さい。

料金 (税別)

試験条件を変更する場合は、料金も変更になります。

詳細についてはお問い合わせください。

試験の種類	検体数	試験料金 (税別)
試験①～④	1 検体	62,000 円
	2 検体	89,000 円
試験⑤	1 検体	92,000 円～※

※方法により変動します。詳細についてはお問い合わせください。

納期 (目安)

試験①, 試験②(乾式法), 試験⑤ : 約 1.5～2 箇月

試験②(湿式法), 試験③(塗布済の場合), 試験④ : 約 1～1.5 箇月

依頼状況や長期祝日の影響で変動する場合がございますので、ご依頼のタイミングで改めてご確認ください。